

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2023. 3. 19.

復活前 第3主日

黙 想 (黙 禱)

招 詞 主は言われる。「今こそ、心からわたしに立ち帰れ、
断食し、泣き悲しんで。衣を裂くのではなく、
お前たちの心を引き裂け。」
あなたたちの神、主に立ち帰れ。（『讃美歌 21』93-1-30）

讃美歌 298 (ああ主は誰がため)

主の祈り

讃 詠 28 (み栄えあれや)

聖 書 ルカによる福音書 22章54節～65節
(新約 156頁)

信仰告白 使 徒 信 条

メッセージ 「主は振り向いた」

多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 296 (いのちのいのちよ)

頌 栄 27 (父・子・聖霊の)

黙 想 (黙 禱)

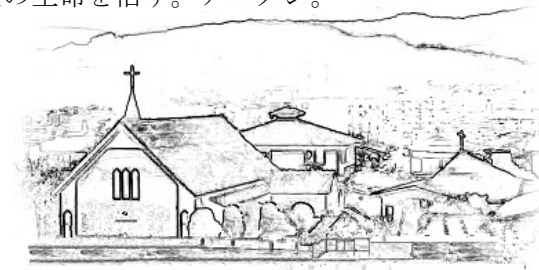
- ◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。
- ◎ 会堂での礼拝では讃美歌を短縮して賛美します。

【主の祈り】 (『讃美歌 21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌 21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧 師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

Tel 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



◆イエス、逮捕される

ペトロ、イエスを知らないと言う

- 54 人々はイエスを捕らえ、引いて行き、大祭司の家に連れて入った。ペトロは遠く離れて従った。
- 55 人々が屋敷の中庭の中央に火をたいて、一緒に座っていたので、ペトロも中に混じって腰を下ろした。
- 56 するとある女中が、ペトロがたき火に照らされて座っているのを目にして、じっと見つめ、「この人も一緒にいました」と言った。
- 57 しかし、ペトロはそれを打ち消して、「わたしはあの人を知らない」と言った。
- 58 少したってから、ほかの人がペトロを見て、「お前もあの連中の仲間だ」と言うと、ペトロは、「いや、そうではない」と言った。
- 59 一時間ほどたつと、また別の人が、「確かにこの人も一緒だった。ガリラヤの者だから」と言い張った。
- 60 だが、ペトロは、「あなたの言うことは分からない」と言った。まだこう言い終わらないうちに、突然鶏が鳴いた。
- 61 主は振り向いてペトロを見つめられた。ペトロは、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と言われた主の言葉を思い出した。
- 62 そして外に出て、激しく泣いた。

◆暴行を受ける

- 63 さて、見張りをしていた者たちは、イエスを侮辱したり殴ったりした。
- 64 そして目隠しをして、「お前を殴ったのはだれか。言い当ててみる」と尋ねた。
- 65 そのほか、さまざまなことを言ってイエスをののしった。